

令和3年度 第3回群馬県内水面漁場管理委員会議事

1 日 時 令和4年3月22日（火）午後2時00分から午後3時40分まで

2 場 所 群馬県水産会館 2階会議室

3 出席者

- ・委員 11名 松元会長 吉澤会長代理 青木委員 佐々木委員 戸部委員
水島委員 中島委員 針谷委員 松田委員 掛川委員 佐藤委員
- ・群馬県 2名 蚕糸園芸課 課長 田島聡緑
水産試験場 場長 原田昌季
- ・事務局 3名 事務局長（水産係長）小林保博
書記（水産係主任）肥留川惇、（水産係主任）渡辺峻
- ・傍聴者 なし

4 開会

（小林事務局長）

- ・委員11名の出席により、群馬県内水面漁場管理委員会事務規程第7条による成立要件を満たしたため、令和3年度第3回群馬県内水面漁場管理委員会を開催する。

5 あいさつ

- ・群馬県内水面漁場管理委員会 松元会長
- ・蚕糸園芸課 田島課長

6 議事

（松元会長）

- ・本日の議事録署名人は、青木委員と掛川委員にお願いしたい。
- ・議題1「令和3年度増殖実績について」事務局から説明願いたい。

（事務局）

- ・資料1及び参考資料にて、令和3年度増殖実績について説明。

（松元会長）

- ・議題1について、何か質問等あるか。

（吉澤会長代理）

- ・ワカサギについては増殖放流呈示量の未達成が多いが、鳴沢湖で行っている定置網と水槽を用いた自然産卵など、これらを行うために水産試験場の技術支援などのバックアップが必要だと思うが、どのように考えているか。

（事務局）

- ・鳴沢湖に関して言えば、ここ数年ワカサギの遡上自体がなくなっており、定置網を用いた卵種苗の確保が難しくなっている。
- ・県内の各漁場で水槽を用いた自然産卵を行った場合、各漁協内の漁場のみであれば、卵として利用できる可能性があると思う。しかし、他の漁協にまで卵を配布するまでの余力はないと考えている。
- ・たしかに、長野県の諏訪湖、北海道の網走湖、神奈川県のアサギ湖、山梨県の河口湖、茨城県の霞ヶ浦などでワカサギの水槽を用いた産卵を行っているが、群馬県の湖と規模が違うので、同様にできるかと言われると難しい。

- ・増殖放流呈示量が達成できない要因の1つである諏訪湖の不漁問題は、長野県水産試験場だけではなく、様々な研究機関も動いているとのことだが、思うように結果が出ておらず、なぜ不漁が続くのかがよくわかっていないという話を聞いている。
- ・群馬県の場合、水産試験場が今後、ワカサギのためにどういことをやっていけるかということであるが、近藤沼や城沼のような規模の小さい湖でのワカサギ産卵における支援をここ数年行なっていなかった経緯があるため、まずはここを中心に支援を行っていく必要があると考えている。

(吉澤会長代理)

- ・示されているワカサギの増殖呈示量は、そこまで多い量ではないと思われるので、何とか賄えないものかと思っているのだが。

(事務局)

- ・比較的安定供給されている網走湖産の卵を注文する場合は、1000万粒単位で購入することになるのだが、1000万粒単位では多すぎて対応できない漁協があるのが問題である。
- ・網走湖産の卵を発注する場合には、複数漁協の希望量をまとめて注文する必要がある。
- ・しかし、現地でもいつでも卵を発送できるわけではなく、到着前日に卵が届く知らせがくることもあるので、これに対応できる体制が整っていない漁協がある。
- ・特に東毛地域の漁協は、これに対応できるような組織体制となっていないと感じており、また、役員の方も変わってしまい、昔のやり方しかわかっていない状況でもあるため、ワカサギ卵放流について、1度説明をする必要があると感じている。

(吉澤会長代理)

- ・青木委員は、赤城大沼でワカサギの増殖に取り組んでいるが状況はいかがか。

(青木委員)

- ・諏訪湖からの注文は難しいため、代わりに現在は河口湖と芦ノ湖へ注文している。
- ・芦ノ湖の場合は、人気のため以前から注文している場所じゃないとなかなか出してくれない状況であり、河口湖は500万粒単位から出してくれる。
- ・河口湖であれば、いくつかの漁協が組んでやれば、注文が可能であると思うが、卵が来たら孵化するようにしっかり必要な作業をやらなくてはならないので、そこは、各漁協が頑張っていただかなければならない。

(水島委員)

- ・上州漁協の状況についてお話しさせていただきたい。
- ・諏訪湖からは2年連続で卵が入ってこない状況であり、網走湖の方がうまく動いていると感じている。
- ・しかし、増殖放流呈示量を満たすように網走湖産の卵を買うとなると結局、数に半端が出てくる。
- ・先ほどの話があったように、ある程度の量がないと売らないっていう状況であるため、まとめて購入し、それを各漁協に分散するような形でやるしかないと思っている。
- ・ついては、県漁連の方で、調整してまとめて購入して分散するという形を検討していただくとありがたい。

(松元会長)

- ・会長が令和3年度増殖実績について、委員に諮ったところ、全会一致で可決承認された。

(松元会長)

- ・議題2「令和4年増殖放流呈示量について」、事務局から説明願いたい。

(事務局)

- ・資料2にて、令和4年増殖放流呈示量について説明。

(松元会長)

- ・議題2について、何か質問等あるか。

(掛川委員)

- ・群馬漁協と両毛漁協については、1つの漁場に2つの組合が増殖していることから、全体量を組合員数で按分して算出されていないのか。実績値だけで呈示量が計算されているのか。

(事務局)

- ・組合の規模に応じて、呈示量の補正はなされていない。
- ・資料16ページに「共第9号漁場」の呈示量の算出方法が記載されており、これについては、以前の漁場管理委員会で諮って決定された事項であるため、この内容に基づき算出している。

(掛川委員)

- ・昔ながらのやり方で算出していると思うが、組合の状況なども変わってきているので、改正していくべきところは行った方がよいのではと思う。
- ・また、先ほどのワカサギの増殖呈示量未達成にも繋がるが、今回、各漁協のワカサギ呈示量について、前日にならないと卵が入るかかわからない状況とのことから、これを達成するためには、相手先に大きく影響されると思うがいかが。

(事務局)

- ・影響はあるかもしれないが、赤城大沼漁協のように卵がきたらすぐに処理できるように準備をするなど、事前の体制を作っておくことで対応できるものと考えている。

(掛川委員)

- ・それはどこが指導する立場なのか。

(事務局)

- ・指導という形ではなく、約10年前の漁業権切替えの際に、この河川等でこの魚種については増殖してくださいということに対して、漁協が手を挙げて免許申請をしていることから、漁協が主体的に行うべきものである。
- ・しかしながら、組合員の高齢化などの問題もあるので、水産係や水産試験場で出来る限りサポートできればと考えている。

(掛川委員)

- ・コロナになってから釣りがレジャーとして注目されている。ワカサギ釣りは家族でできるものであり、漁協が高齢化しているからといって何事も昔のやり方のままとするのではなく、新しい事にも取り組んでいけるように、行政には、聞かないと教えないという形ではなく、教えるから一緒にやりましょうという形で指導してほしい。

(事務局)

- ・そのようにしていきたい。

(松元会長)

- ・会長が令和4年増殖放流呈示量について、委員に諮ったところ、全会一致で可決承認された。

(松元会長)

- ・最後に「その他」について、何かあればお願いしたい。

(事務局)

- ・事務局から資料3について説明。

(松元会長)

- ・その他の内容について、何か質問等あるか。

(佐藤委員)

- ・ミズワタクチビルケイソウについて、皆様が考えているより深刻な状況である。
- ・今現在、日本に拡散しているミズワタクチビルケイソウは、在来かもしれないと考えられていたが、北米由来の外来種だとわかっている。
- ・全てを駆逐することは難しいが、積極的に排除していくものである。
- ・碓氷川、烏川の現状を確認したところ、ほぼ繁殖率 100% と言っていい状態。
- ・この状態で魚を放流しても、資源を無駄にする結果となり、生息に適した環境ではないといえる。
- ・積極的にラバーソールを使用する、消毒を行うなどの対策について、行政の方で啓発活動の方針を示すとともに、漁場管理委員会でも、この事実を前向きにとらえて対応を考えていければいいのかなと思っている。

(松田委員)

- ・アユの病気については、消毒の話は聞いたことがあるが、このケイソウの話で同じ話を聞いたことがない。

(戸部委員)

- ・アユの冷水病が発生した時に、県が対策指針を作成したことがあったが、このミズワタクチビルケイソウについても同様に県で指針を作ってみてはどうか。もしかすると冷水病よりひどいものなのかもしれない。

(中島委員)

- ・景観も悪くなり、何も知らない人だとへドロだと勘違いされ、汚い川だと思われる。
- ・群馬県のきれいな川が汚いと思われるのが嫌である。

(松元会長)

- ・今回の出た意見は、関係する機関にも伝えていただき、このケイソウへの対策の方向性を示していくことが最良である。

(事務局)

- ・ミズワタクチビルケイソウの詳細がわかってないところもあり、我々は魚の専門家ではあるが、植物の専門家ではないため、水産以外の関係者等と情報交換しつつ、必要な情報の発信などを行っていききたい。

7 閉会

群馬県内水面漁場管理委員会

会長 _____ 印

委員 _____ 印

委員 _____ 印